

旧戸井線へのバス路線の新設について（概要）

1. 新設される系統

- ・路線 …………… 望洋団地線（延長 14.0km）
 - ・停留所 …………… 新設 12 か所，増設 1 か所
 - ・運行開始予定 …… 平成 30 年 11 月 1 日（木）
- ※系統図，運行回数および運行時刻は別紙のとおり

2. 運行概要

項 目	内 容
運行事業者	函館バス株式会社
運行ルート概要	銭亀沢地区の旧戸井線を運行。「根崎競技場前」や「湯倉神社」等の停留所において，基幹路線（下海岸線，旭岡団地線，川汲鹿部線）と接続します。
起 点	新湊高台・函館共働宿泊所
主な経由地	根崎競技場前（イオン湯川店），湯の川生協前，フレスポ戸倉前
終 点	新湊高台・函館共働宿泊所
延 長	①新湊高台・函館共働宿泊所～根崎～湯倉神社前～フレスポ戸倉前～新湊高台・函館共働宿泊所 11.8km ②新湊高台・函館共働宿泊所～根崎～湯倉神社前～湯の川生協前～フレスポ戸倉前～新湊高台・函館共働宿泊所 14.0km
所要時間	①35分，②45分
運行本数（運行日）	①3便（毎週火曜日），②3便（毎週木曜・日曜日）[主系統]
料 金	140円～350円（主要な商業施設までの片道料金）
その他	①，②は路線の一部を異にするものであるが，大部分を同一ルートで運行しており，かつ両路線とも旧戸井線沿線の住宅地と湯川町・戸倉町の商業施設を結節する機能を有するため，同一の系統として扱うこととする。 ※通常は，主系統と異なる区間のキロ程が，主系統のキロ程の10%以内の運行系統を主系統と同一の系統として扱うが，協議会が「地域の実情に鑑み主系統と同一の補助対象と扱うことが必要」と認めた場合は，主系統と異なる区間のキロ程が20%以内の運行系統についても，同一の系統として扱うことができる。

3. 経過等

(1) 経 過

- H28. 10 月 銭亀沢地区町会連合会から函館バス(株)へ要望書提出
（理由：高齢者が多く，急斜面の上り下りが難しい）
- H29. 11 月 町会連合会より函館バス(株)へアンケート結果提出
- H30. 4 月 町会連合会と函館バス(株)で協議し，経路，時刻，運賃等の概要に合意

(2) 今後のスケジュール

- 5 月 28 日 平成 30 年度第 1 回函館市生活交通協議会（本日）
- 6 月末日 平成 31 年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画を申請（函館バス→国）
- 11 月 1 日 運行開始（予定）

[illegible]

● 運行目的を買い物に絞って運行

— 毎週火曜 運行

— 毎週木曜・日曜 運行

— 地域間幹線系統運行経路

[illegible]

